



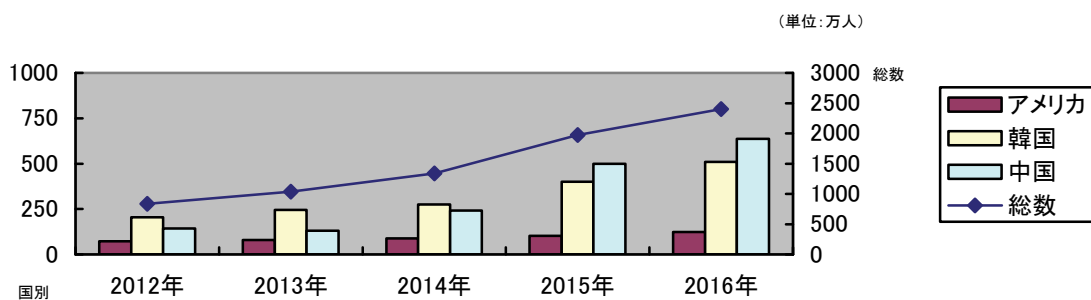
【青島支店】

中国への進出及びビジネスチャンス

1. はじめに

中国には日系企業が多く進出し、中国で生産された多くの商品が日本に輸出されています。日本にいてもメイドインチャイナの商品を使ったことがないという人を探すのが難しいほど、多様な商品が浸透し、生活の一部となっています。中国で暮らしていても、日本料理の進出や、越境 EC（電子商取引）により、以前よりも多くの日本製品が身近になっています。また、所得の上昇等により、中国人の訪日旅行客も年々増加し、両国の大都市（東京・大阪・北京・上海）以外を発着する航路も増え、日本とのつながりはますます密になっているのではないのでしょうか。

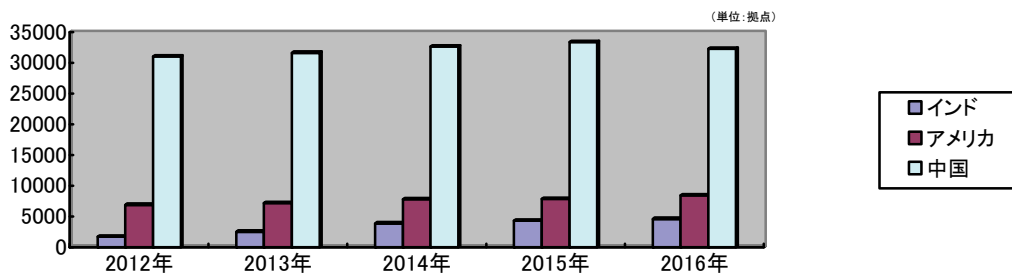
訪日客推移



※日本政府観光局（JNTO）参照

上記の図表からわかるように、中国人訪日客数は 2015 年に前年の約 2 倍となり、韓国を抜いて第 1 位となっています。増加は続いており、2016 年訪日外国人数約 2,400 万人のうち、中国人は約 640 万人と全体の 26.5%を占め、アメリカと比べると約 5 倍となっています。

国別日系企業拠点数(上位3カ国)



※外務省 HP 海外在留邦人数調査統計（平成 29 年要約版参照）

また、日系企業拠点数も、2 位のアメリカと約 4 倍もの大差をつけ、第 1 位となっています。

2. 日系企業の進出・目的の変化

日系企業は、製造コストを抑えるため、人件費等が安く距離も近い、中国（海外）への進出を 1980 年頃より積極的に開始しています。当初は中国で製造し、輸出することを目的として進出した日系企業が多かったため、中国沿岸部への進出がメインでした。

山口銀行青島支店がある山東省青島市も海に面しており、中国内陸部に比べ輸送コスト、輸送時間が短いため、貿易取引において輸出割合が大きくなっています。中国経済の発展とともに、青島港は世界でも有数の港へ成長していきました。

その一方、現在では中国経済の発展により、地域によっては人件費や固定費上昇、人材確保が難しくなる等の問題から、コスト削減や人材確保のために内陸へ進出する企業と、消費に魅力がある沿岸部の都市に進出する企業に別れているようです。また、物価、人件費の上昇、為替の影響を受け、業種によっては輸出環境が厳しくなっている企業もあるようです。そのため、輸出メインではなく、中国国内販売に注力する企業が増えてきています。ただし、販売先の選定、資金回収方法、商慣習の違いなどもあり、軌道に乗るまでは苦戦することもあるようです。

今までは各拠点に営業所を設け、営業を常駐させる方法が一般的でしたが、中国はインターネットショッピングが盛んであるため、初期費用をかけ店舗展開するリスクを抑え、ネットショップへの出店で市場に参入し、商品の販売状況を確認するのもひとつの方法ではないでしょうか。

3. 終わりに

中国は世界最大の自動車生産・販売台数を誇り、経済成長率も 6%台となっています。現在でも鉄道、高速道路、空港等への公共投資が多く行われており、一帯一路の国家政策のもと、物流、貿易、産業を三位一体として発展を促しています。

個人においては、以前に比べ若干落ち着きを見せていますが、最低賃金も上昇しており、

所得は向上しています。企業にとっては人件費上昇という問題もありますが、個人消費は引き続き旺盛で、値段が高くても良い商品についてはお金を惜しまないようです。

中国では業種によっては外資 100%が認められないなど、古い制度も多くありますが、インターネットショッピング、電子マネー、都市部より広がりを見せている「シェア自転車」等、日本よりも進んでいる分野もあるため、日本では一般的でなくても、中国で通用する方法があるのではないのでしょうか。

また、日本食についても、上海等の都市では日本のラーメン展や地方の物産展などが頻繁に行われています。青島では日本のラーメン店、抹茶専門店が多くオープンし、中国の来店客で賑わっており、日本食の認知度、需要には底堅いものを感じられます。従業員を雇って店舗展開するのも一つの方法ですが、中国では外卖（食事の宅配サービス）が当たり前になっているため、デリバリーに特化した出店というのも面白いのではないのでしょうか。



経済発展の数字、統計等は日本に住んでいても調べることは簡単ですが、実際の生活、状況などは体験しないとわからない部分がたくさんあります。

青島市は中国のなかでも住みたい都市の上位に入っており、夏場には世界のビールを楽しむ青島国際ビール祭りを筆頭に、中国各地から多くの観光客を集める観光地です。リフレッシュをしながらビジネスチャンスを探すために、ぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

以 上

【参考文献】

- 日本貿易振興機構（JETRO）
中国地区別情報「山東省概況」
http://www.jetro.go.jp/ext_images/world/asia/cn/kahoku/pdf/overview_shandong_201704.pdf（2017/9/11 閲覧）
- 経済産業省「日本企業の海外進出状況」
<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/genntihou/sanko/pdf/h2c3e1ni.pdf>
（2017/9/11 閲覧）
- 外務省
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/index.html>
- 日本政府観光局（JNTO）
<http://www.jnto.go.jp/jpn/index.html>